

2012年8月30日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

県内最多のぎふ清流大会選手団サポートボランティア

学生が清流大会に参加する選手団の 歓迎応援グッズを作成します

中部学院大学（学長 岡本 健）同短期大学部（学長 片桐多恵子）は、福祉・医療・教育系大学として、10月に岐阜県内で開催される「ぎふ清流大会」などにおいて、**県内最多となる選手団サポートボランティア**（※1）をはじめ、競技補助員、県選手団役員などを派遣します。特に選手団サポートボランティアは、**来県する67の選手団の出迎え、介助、誘導などを担い、本学の学生約400人がサポート**します。大会まで1カ月を切り、9月17日（月）には、選手団サポートボランティア養成講座の一環として、本学関キャンパスにおいて、接遇マナーや期間中の行動計画の確認をはじめ、**来県する選手団を温かく歓迎するために、横断幕やメガホン、うちわなどを作成**します。

記

- | | |
|---------|---|
| ■ 日時 | 2012年9月17日（月・祝）午前9時10分～午後2時50分 |
| ■ 場所 | 中部学院大学関キャンパス栄光館ほか（関市桐ヶ丘二丁目1番地） |
| ■ 対象者 | 学生約400名
[選手団サポートボランティア]
（大学） <ul style="list-style-type: none">・ 人間福祉学部 1,2年生全員、相談援助コース3年生・ 子ども学部 1,2年生全員・ リハビリテーション学部 1,2年生全員 （短期大学部） <ul style="list-style-type: none">・ 社会福祉学科 1年生全員 |
| ■ 当日の流れ | 9：10～10：40 ミナモダンス・サポートボランティアの役割
10：55～12：20 マナー講座・応援グッズの作成方法
13：20～14：50 応援グッズの作成 |

※1「選手団サポートボランティア」

選手団の67選手団の出迎え、介助・誘導、応援、見送りなどのサポート業務を行います。主な役割として、選手が快適な環境のもと競技に参加したり、交流を通じて、障がいや障がい者への理解を深めたりします。

【備 考】

■ 本学のこれまでの流れ

- 2010 年度 ぎふ清流大会ボランティア実行委員会発足
千葉大会視察
- 2011 年度 オリエンテーションの実施
ボランティア養成カリキュラム「ボランティア活動論Ⅰ」で座学を修得
山口大会視察
- 2012 年度 オリエンテーションの実施
競技リハーサル大会に参加
県選手団結団式に参加
ボランティア養成カリキュラム「ボランティア活動論Ⅰ」(1,2年生)

※2012年度のカリキュラムは、大会期間中の授業を夏休みにシフトし、ボランティアに専念できるように調整

※「ボランティア活動論Ⅰ」は選手団サポートボランティアに参加するすべての学生が履修

■ 本学のぎふ清流国体・大会のボランティア

[ぎふ清流国体]

- ・ 競技役員・競技補助員など 約 30 人 (バレーボールほか)

[ぎふ清流大会]

- ・ 選手団サポートボランティア (67 選手団の出迎え、介助・誘導など) 約 400 人
陸上競技 (岐阜市) フライングディスク、アーチェリー (関市)
- ・ 競技補助員/競技場内での競技の補助、選手の誘導 約 80 人
フライングディスク (関市)
- ・ 県選手団役員など 約 30 人

■ 大会期間中の「選手団サポートボランティア」の流れ (6 日間同行サポート)

- 10 月 11 日 (木) 来県日 (JR 岐阜羽島駅などでお出迎え)
- 10 月 12 日 (金) 公式練習 (選手の介助・誘導、応援など)
- 10 月 13 日 (土) 開会式 (選手の介助・誘導、応援など)
- 10 月 14 日 (日) 競 技 (選手の介助・誘導、応援など)
- 10 月 15 日 (月) 閉会式 (選手の介助・誘導、応援など)
- 10 月 16 日 (火) 離県日 (選手をお見送り)

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 学生課 (担当: 亀山 課長)

TEL:0575-24-2213 (関キャンパス) Mail: kameyama@chubu-gu.ac.jp